

款	農林水産業費	項	農業費	
事業名	都市と農村の交流事業			
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり			
決算額	307千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源 307千円

【施策の概要】

平成20年度に設立した「土浦市都市と農村交流事業検討委員会」において、本市交流事業の在り方・方向性を取りまとめた「土浦市都市と農村の交流事業調査報告書」を作成し、新治地区と霞ヶ浦周辺地区が重点地区として示されました。平成21年度に「新治地区都市と農村交流事業推進協議会」を、平成22年度に「霞ヶ浦周辺地区都市と農村交流事業推進協議会」をそれぞれ設立し、交流事業の進め方や体験農園、特産物を活用した加工品の試作・販売に取り組みました。

1 平成24年度「新治地区」における交流事業の取組

- ① 農業体験の取組
協議会内部組織「ふるさと農業体験塾」において、年4回の野菜づくり体験とそば打ち体験を実施し、12組20人の参加者がありました。
- ② 小野周辺の農村景観整備
小町の里を中心とした景観形成事業として、小町の里への「菜花は種」、「彼岸花植栽」と小町周辺の除草を行いました。
- ③ 地域特産物を活用した取組として、「霞ヶ浦まるごとマルシェ in あみプレミアムアウトレット」において試食・販売を実施しました。
試食販売:ピクルス、ゴボウの漬物、プリン、かき餅

2 平成24年度「霞ヶ浦周辺地区」における交流事業の取組

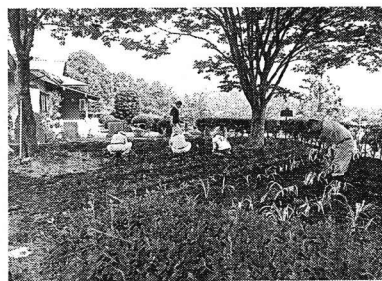
- ① 地域特産物を活用した取組として「キララ祭り」や「産業祭」において特産品の試食・販売を実施しました。
販売:果樹アイスクリーム、レンコンケーキ
試食:霞ヶ浦産ワカサギ・シラウオ、レンコン
- ② 平成25年度の実施事業のテーマを「れんこん」に決定しました。

3 農業体験のできる「市民農園」の開設

平成24年度に、新たに「虫掛市民農園」を開設しました。

〔平成24年度利用実績〕

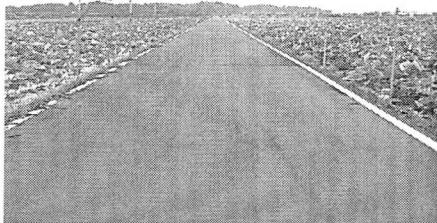
地区	農園名	区画数	利用可能区画数	貸出区画数
四中地区	高津農園	114区画	104区画	93区画
上大津地区	神立農園	85区画	79区画	78区画
六中地区	摩利山農園	40区画	37区画	37区画
三中地区	中村西根農園	30区画	30区画	30区画
一中地区	虫掛農園	16区画	16区画	平成25年供用開始



【施策の成果】

- ・都市と農村の交流事業では、地域の協力を得て、特産物を活かした加工品の試食・販売や農業体験活動、景観整備などの計画を実践することができました。
- ・市民農園の利用希望者が多かったことから、新たに農園を開設し、都市部在住市民のレクリエーション活動や高齢者の生きがいづくりの場の拡充を図ることができました。

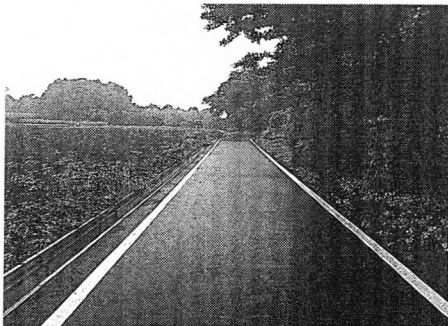
款 農林水産業費		項 農業費	
事業名	県営ほ場整備事業（手野地区、坂田地区）		
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	36,116千円	財源内訳	国県支出金等 10,784千円 一般財源 25,332千円
【施策の概要】			
◎手野2期地区			
霞ヶ浦沿岸に広がる未整備のレンコン地帯約173ヘクタールについて、道路、用排水及び区画形状を整備することにより、農地の集団化を図り、近代的農業基盤を確立することを目的として、平成7年度に県営ほ場事業として採択を受け、事業に着手しています。平成17年度に手野1期地区の134.5ヘクタールの整備が完了し、現在、手野2期地区の38.5ヘクタールの整備を進めています。			
○事業主体：茨城県			
○事業期間：平成18年度～平成26年度			
○総事業費：1,396,300千円			
○事業内容：整地工 38.5ha 道路工・排水路工・揚水機場 2か所			
○整備済面積：38.5ha			
[平成24年度]			
○県営ほ場整備事業負担金 7,300千円			
・支線道路舗装工 L=1,297m			
・パイプライン工 L=1,379m			
・水門撤去工 一式			
・付帯工 一式			
◎坂田地区			
国道125号線と桜川の間畑地帯33.6ヘクタールについて、道路及び水路等の整備や耕地整理などの基盤整備を実施することにより、営農の省略化を図り、生産性の高い農業基盤を確立することを目的として、昭和61年度から県営ほ場事業として整備を進めています。			
○事業主体：茨城県			
○事業期間：昭和61年度～平成26年度			
○総事業費：995,000千円			
○事業内容：区画整理工 33.6ha 道路工 排水路工			
○整備済面積：25.0ha			
[平成24年度]			
○県営ほ場整備事業負担金 18,031千円			
・区画整理工 8.6ha			
・支線道路舗装工 L=2,137m			
・流末排水路工 L=320m			
○埋蔵文化財発掘・整理調査委託料 10,785千円			
・発掘調査 540㎡			
【施策の成果】			
整地工及び道路等の整備を行い、農業生産基盤の充実・推進に寄与しました。			



整備箇所



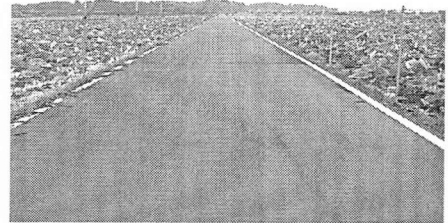
位置図



整備箇所



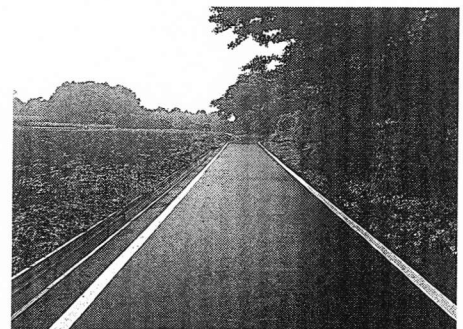
位置図



整備箇所



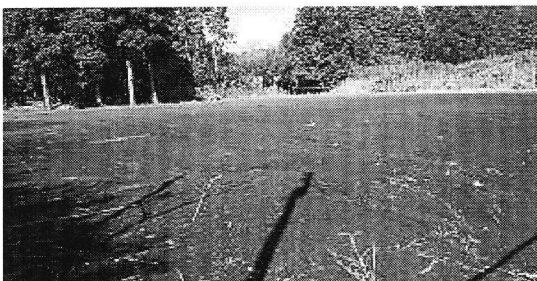
位置図



整備箇所



位置図

款	農林水産業費	項	林業費			
事業名	林業振興対策事業					
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
決算額	5,813千円	財源内訳	国県支出金等	5,813千円	一般財源	
【施策の概要】						
平成20年度に創設された「茨城県森林湖沼環境税」の財源を活用した「身近なみどり整備推進事業」により、荒廃した平地林・里山林の下草刈り等を実施し、適正な保全・整備を進めました。						
1 身近なみどり整備推進事業（平成24年度実績）						
(単位：ha)						
実 施 場 所		整備面積	事業内容			
①沢辺字中原地		0.57	植栽			
②上坂田字浦山		0.61	下刈り・除伐			
③右籾字五斗五升，字干，字明神前東，字宮塚		0.27	枝打ち・除伐			
④栗野町字下坪		0.45	下刈り・除間伐			
⑤藤沢字南裏		0.19	枝打ち・除伐			
⑥小山崎字中坪，字明地，字鍋内，字トウカマユ		2.81	下刈り・枝打ち・除間伐			
⑦高岡字鹿島神社，藤沢字宮窪		2.11	除間伐			
合 計		7.01				
2 年度別整備面積・整備費						
(単位：ha，千円)						
年 度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合計
整備面積	0.5	0.67	1.09	3.92	7.01	13.19
整 備 費	411	609	1,512	3,208	5,813	11,553
うち県費	411	609	1,512	3,208	5,813	11,553
 下草刈り・除伐（実施前）  下草刈り・除伐（実施後）  植栽（実施前）  植栽（実施後）						
【施策の成果】						
身近に存在する荒廃した森林（民有林）について、緑地としての機能の回復を図ることができました。						

款	商工費	項	商工費
事業名	プレミアム付商品券補助事業		
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	20,387千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 20,387千円

【施策の概要】

消費者の利便性を図るとともに、市外への消費流失防止や、市内商業の発展と振興を図ることを目的に、土浦商工会議所が主体となり発行した額面3億3千万円（1割のプレミアム分を含み）の商品券について、商品券の発行に係る経費（1割のプレミアム分、印刷費、PR費等）の一部を補助しました。

〔補助対象事業費内訳〕

商品券発行額 330,000千円（1,000円券8枚、500円券6枚の計14枚つづり×3万セット）
※ 1,000円券4枚は大型店でも使用可能
プレミアム補填 15,000千円（プレミアム分30,000千円の2分の1）
事務費 5,500千円（商品券印刷・広報PR）

〔平成24年度実績〕

第13期

期 間 平成24年 7月1日（日）～平成24年10月31日（水）
発行額 165,000千円

第14期

期 間 平成24年12月1日（土）～平成25年 3月31日（日）
発行額 165,000千円

取扱店 620店

〔決算額内訳〕

（単位：千円）

区 分	金 額	概 要
プレミアム補填分	14,887	プレミアム付商品券回収分に対するプレミアム補填分
事 務 費	5,500	商品券印刷・広報PR
合 計	20,387	



第14期プレミアム付商品券



プレミアム付商品券チラシ



販売店及び加盟店用のぼり旗

【施策の成果】

事業開始時は、商品券の完売までに約1か月間を要していましたが、1割のプレミアム付商品券のPR効果もあり、最近では数日で完売するなど人気が高まっています。

平成24年度の換金実績は、経済の低迷や郊外大型店舗の出店が進む厳しい商業環境の中にあっても、個店での利用割合が80%、大型店での利用割合が20%と、市内の個店及び専門店で利用者が多く、市外への消費流失防止と市内での消費の拡大につながりました。

款	商工費	項	商工費
事業名	企業誘致事業		
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	54,539千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 54,539千円

【施策の概要】

1 工業団地PR

市内の工業団地に企業の立地を促進し、工業の振興と雇用機会の拡大を図ることを目的として、茨城県が大都市において開催する工業団地立地説明会等に参加し、市内の工業団地をPRしました。

- ・CEATEC JAPAN（最先端IT・エレクトロニクス総合展：幕張メッセ）

開催日：平成24年10月2日（火）～6日（土），出展者：624社・団体，来場者数：162,219人

内 容：茨城県圏央道沿線地域産業・交流活性化協議会ブースを共催し，ブースへ参加しました。

- ・平成24年度いばらき産業立地セミナーIN大阪

開催日：平成24年11月27日（火），参加企業：101企業・151人

内 容：市内工業団地・観光PRブースを設置しました。

2 企業立地奨励金

市内の工業専用地域，準工業地域及び東筑波新治工業団地に新設又は増設をする法人で，新・増設に伴い新規採用により従業員数が5人以上増加したものに対して，奨励金として固定資産税相当額を3年間交付しています。

- ・平成24年度奨励金交付実績

（単位：千円）

No.	企業名	金額	No.	企業名	金額	No.	企業名	金額
1	東精エンジニアリング	5,817	4	東立運輸	1,227	7	ヤマトマルチメンテナンスソリューションズ	2,050
2	花園饅頭	5,410	5	スミダ飲料	12,711	8	JFEライフ第3期増設	4,410
3	環境経営総合研究所	10,741	6	郷商事	2,673	9	S・T e c フーズ	8,413

- ・市内工業団地分譲状況

（単位：ha）

工業団地名	総区画		未分譲	
	区画	面積	区画	面積
テクノパーク土浦北	10区画	26.5	0区画	—
東筑波新治工業団地	14区画	22.6	1区画	1.0
おおつ野ヒルズ	12区画	21.6	6区画	15.9

3 企業立地経済調査

平成16年から平成24年までに奨励金を支給している市内4か所の工業団地に立地する16社の企業立地に伴う経済波及効果の調査を実施しました。

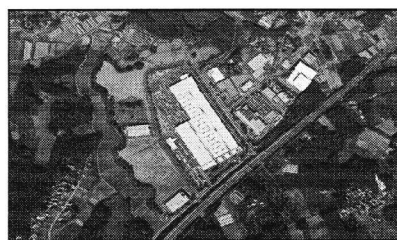
〔決算額内訳〕

（単位：千円）

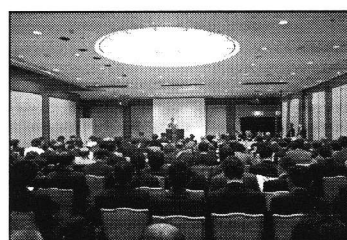
区 分	事業費	概 要
企業誘致奨励金	53,454	東精エンジニアリングほか8社
旅費等	98	CEATEC JAPAN，産業立地セミナー
委託料	987	常陽地域研究センター
合 計	54,539	



企業誘致パンフレット



テクノパーク土浦北



産業立地セミナーIN大阪

【施策の成果】

東筑波新治工業団地では平成24年10月にオートボディセンターが0.8ha区画を，テクノパーク土浦北では平成24年12月に三協フロンティアが4.8ha区画を，平成25年3月に関商運輸が3.1ha区画をそれぞれ用地取得しました。また，県外での産業立地セミナー参加等により，本市及び本市工業団地を広く紹介するとともに，奨励金を支給している企業16社の立地に伴う経済波及効果調査では，生産誘発効果以外にも，生産活動の活性化や新たな雇用の創出につながっているとの結果が得られました。

款	商工費	項	商工費
事業名	中心市街地活性化事業の推進		
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	43,967千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 43,967千円

【施策の概要】

食のまちづくり事業

地元産品の利活用・地産地消の考え方を基に、オリジナルカレーの普及をはじめ、新たな名物創作料理を創出するとともに、カレーフェスティバルでは「つちうらカレー物語」認定店・認定メニューを紹介するなど、カレーのまち土浦を全国に発信しました。

[第9回カレーフェスティバル]

・開催状況…平成24年11月17日（土） 川口運動公園 69店舗 来場者約28,000人

ジャズフェスティバル開催事業

中心市街地の商店会が実施主体となり、商店街の活性化とまちなかのにぎわいづくりのため開催する「ジャズフェスティバル」への支援を行いました。

[サウンド蔵つちうら2012]

・開催状況…平成24年 9月16日（日）モール滝の前広場 来場者約650人

まちづくり活性化バス運行支援

中心市街地への集客力・来街機能、生活環境の向上を図るため、活性化バス「キララちゃん」の運行支援を行いました。平成24年6月には、平成17年3月の運行開始以降の総乗客数が100万人を突破しました。また、単年度での乗客数も過去最高を記録しました。

・平成24年度利用者数…157,598人（1日当り463.5人、1便平均10.3人）

まちづくり機関支援事業

中心市街地活性化の取組を横断的・総合的にコーディネートする役割を担うまちづくり機関に対して運営支援を行い、民間主体のまちづくりを推進しました。

まちなか交流ステーション事業

まちなかのにぎわいを創出するため、まち歩き講座や茶話会の開催、七タイイベント・クリスマスイベントへの協賛など、各種事業を展開するとともに、来街者や地元商店会の会議等に広く活用されました。

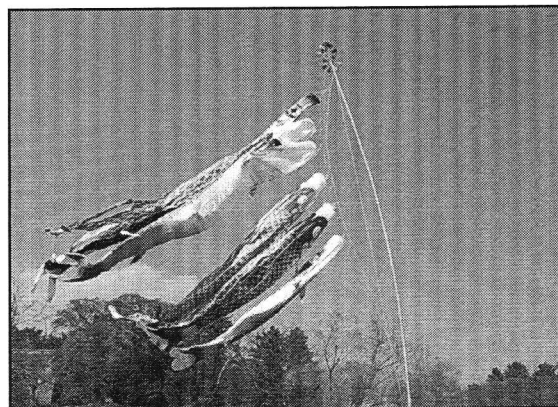
・来館者数…7,875人

まちなか賑わいパラソル・彩り・鯉のぼり事業

中心市街地のまちなか空間を活用し、商店街との協働による街路灯へのペナント掲出をはじめ、パラソル・テーブルやフラワーポット、鯉のぼりを設置するなど、彩りによる演出を行い、まちなかのにぎわいの創出に努めました。



まちづくり活性化バス「キララちゃん」



まちなか活き活き鯉のぼり

まちなか元気市開催事業

中心市街地のまちなか空間を活用し、地元商店会等との協働により元気市を開催することで、中心市街地のにぎわいを創出しました。

- ・開催状況…第16弾・平成24年 4月17日（日）モール505
かすみがうらマラソンランナーズヴィレッジとして開催
来場者約3万人
- 第17弾・平成24年 6月30日（土）まちかど蔵
まちかど蔵改修記念イベントとして開催 来場者数約1,500人
- 第18弾・平成24年10月 6日（土）うらら広場
土浦全国花火競技大会来街者へのおもてなしイベントとして開催
来場者数2,000人

中心市街地「まちの駅」おもてなし事業

中心市街地の既存施設や商店等を活用して、まちなかの交流施設「まちの駅」を設置し、来街者にまちなかを楽しく回遊していただくことで、中心市街地のにぎわい創出に努めました。また、産業祭や婆娑羅展に合わせて、スタンプラリーを実施しました。

- ・まちの駅加盟店…12駅

まちなかドリンクラリー事業

商店会や飲食店事業主のネットワーク化によりおもてなしの機運醸成が図られるとともに、多くの参加者を得ることができ、まちなかににぎわいを創出しました。

- ・開催日 平成24年9月23日
- ・参加飲食店50店、参加者数（チケット売上状況）…471組（前売り460組、当日11組）



かすみがうらマラソンランナーズヴィレッジ



まちなか元気市

【施策の成果】

事業者、NPO、関係団体及び市民が協働し、まちなかのにぎわい創出と中心市街地活性化事業の取組を展開することにより、中心市街地の活性化に寄与しました。

まちなか生き生き鯉のぼり事業では、新たに亀城公園芝生広場に16mポールのシンボル鯉のぼりを設置しました。

かすみがうらマラソンランナーズヴィレッジとして開催した元気市では好評の大鍋による炊き出しサービスに加え、天然温泉を使用した足湯を設け、話題となりました。

まちづくり活性化バスについては、これまでで最高の年間乗客数となりました。

款	商工費	項	商工費
事業名	小町の館整備事業 《合併特例債事業》		
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり		
決算額	317,700千円	財源内訳	国県支出金等 310,100千円 一般財源 7,600千円

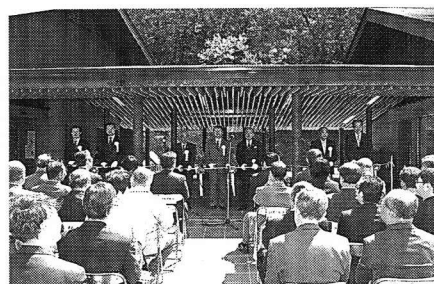
【施策の概要】

小町の里周辺の自然環境や歴史・伝承といった様々な地域資源と特性を活かし、交流人口の拡大による本市の産業振興や地域経済の活性化を図るため、小町の里整備基本構想及び基本計画を策定し、平成23年度に行った基本設計及び実施設計を基に、平成24年度に体験館新築及び本館改修工事を実施し、平成25年4月27日（土）に全館をリニューアルオープンしました。また、スムーズな誘導による集客を図るため、小町の館の誘導案内看板を2か所設置しました。さらに、小町の里周辺に生息する動植物の観察といった自然と触れ合う機会の創出を目的に、既存の水車用調整池を活用してビオトープを整備しました。

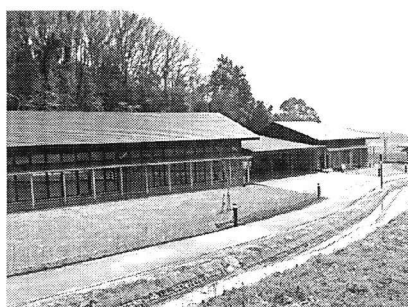
【事業費内訳】

（単位：千円）

区 分	事業費
小町の館体験館新築及び本館改修建築主体工事	238,875
小町の館体験館新築及び本館改修機械設備工事	37,590
小町の館体験館新築及び本館改修電気設備工事	23,678
小町の館体験館新築及び本館改修工事に伴う 建築設計・監理業務委託	9,765
小町の館案内看板設置工事	2,153
案内情報コンテンツ作成業務委託	4,620
小町の館ビオトープ整備工事	1,019
合 計	317,700



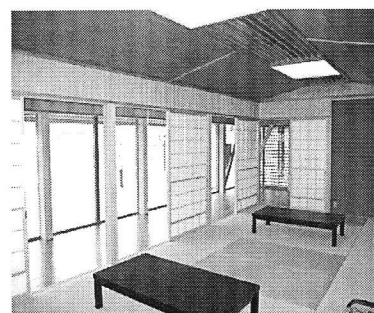
記念式典の様子



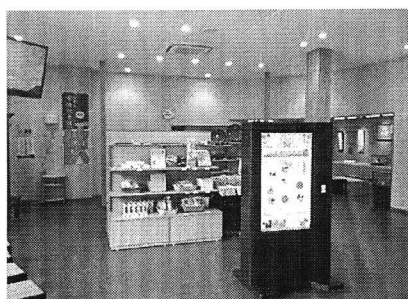
体験館外観



体験工房



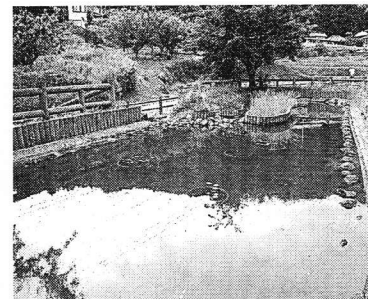
おやすみ処



改修後の本館



小町の館案内看板



ビオトープ

【施策の成果】

小町の里整備基本構想及び基本計画に基づき、様々な体験活動を行う体験館の新築を行い、そば打ち体験を始め、土器づくり体験等を実施するなど、来訪者の増加と施設の魅力化を図ることができました。また、ビジターセンターとしての機能強化を図るため、本館改修工事を行い、大型モニターのタッチパネルによる小町の里周辺の紹介や市内イベントの紹介など、高画質映像ならではの臨場感あふれるPRが可能になりました。

ビオトープについては、現在水生植物等の育成中であり、今後は、生態系観察等の体験活動への活用が期待されます。

款	商工費	項	商工費	
事業名	第81回土浦全国花火競技大会事業			
施策の大綱名	産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり			
決算額	71,491千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源 71,491千円

【施策の概要】

期日：平成24年10月 6日（土）

場所：桜川畔学園大橋下流付近

種目：スターマインの部：22台， 10号玉の部：45発， 創造花火の部：22組

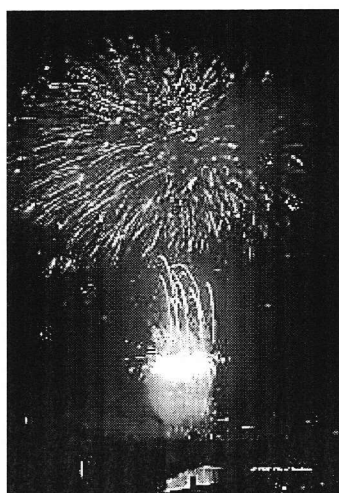
全国有数の煙火業者（20都道府県56業者）の出品による花火競技大会を開催することで、我が国の煙火技術の向上を図るとともに、多くの観客を誘致することにより、本市の観光事業及び商工業の発展に寄与することを目的に開催しています。

◎平成24年度事業費（単位：千円）

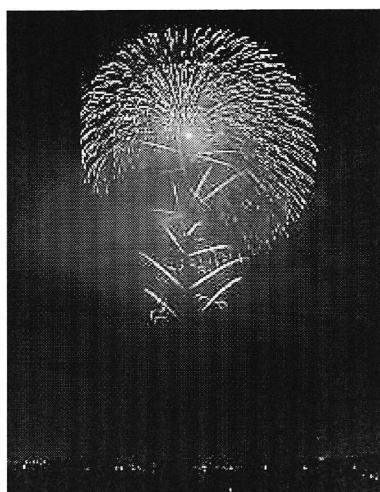
区 分	事業費	概 要
職員手当等	6,227	係員時間外手当
補助金	65,264	花火大会事業補助金
合 計	71,491	

◎花火競技大会収支決算（単位：千円）

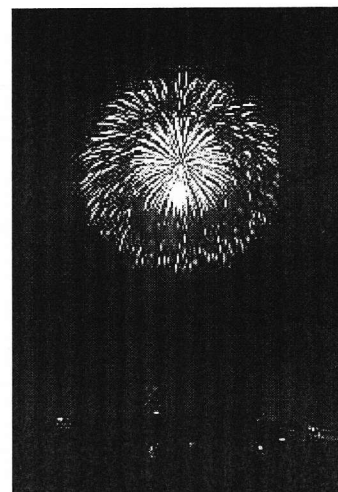
収入	206,855	市補助金 栈敷席収入等
支出	206,855	栈敷席設置・安全対策等



スターマイン優勝作品
〔株〕紅屋青木煙火店〕



10号玉優勝作品
〔野村花火工業株〕



創造花火優勝作品
〔三遠煙火株〕



ワイドスターマイン「土浦花火づくし」



エンディング花火

【施策の成果】

大会運営においては、約70万人の観覧客を集め、10号玉の打ち上げ方法を1筒1発方式へ改善するなど安全な煙火消費に努めたほか、東日本大震災後の大会として地震対策のため栈敷席の強度アップや停電時のバックアップ電源を設置するなど、これまで以上に安全対策を講じました。また、大会においては、競技花火のみならず、毎回好評を得ている大会提供花火ワイドスターマイン「土浦花火づくし」を、また、エンディングには7号玉81発を打ち上げることで、大会全体の魅力の向上に努め、本市のイメージアップに寄与しました。